

7 西 浦 地 区

1 青少年健全育成協議会

(1) 青少年健全育成推進協議会準備会

- ① 日 時 平成26年 4月30日(火) 15:30～
- ② 場 所 西浦中学校 図書室
- ③ 参加者 学区5地区総代、小中学校PTA会長・副会長、小学校PTA生活部
中学校PTA補導部、保育園長、保育園父母の会会長・副会長
小中学校校長、小中学校校務主任 総勢30名
- ④ 協議内容 ・経過説明 昨年の西浦地区の健全育成ふれあい活動と課題
・健全育成協議会の開催について 基本方針・活動方針の確認
・ふれあい活動の内容検討 実施日時・場所・役割分担



健全育成準備会



健全育成協議会

(2) 青少年健全育成推進協議会

- ① 日 時 平成26年 5月22日(木) 10:00～11:00
- ② 場 所 西浦中学校 体育館
- ③ 参加者 学区5地区総代、公民館長、公民館主事、保護司、民生委員
児童委員、少年補導員、地区補導員、更正保護女性会、
子ども会理事、交通安全推進協議会役員、消防団分団長、消防団副分団長
保育園園長、保育園父母の会、児童館館長、少年スポーツリーダー
小中学校PTA会長・役員、小中学校校長・関係職員
＜来賓＞青少年センター所長、蒲郡警察署生活安全課長 総数60名
- ④ 内 容
 - ・開会の言葉 協議会副会長 稲生総代 壁谷 亮二氏
 - ・主催者挨拶 協議会会長 知柄総代 杉山林一郎氏
 - ・来賓挨拶 蒲郡警察署生活安全課課長 岡野 典康氏

・協議・報告事項

ア 基本方針 < 本年度の健全育成スローガン >

「地域・家庭で育てる青少年」

「大きな声で元気にあいさつできる西浦っ子」

「笑顔の絶えない明るい西浦っ子」

イ 活動方針

地域・家庭・学校の連携・協力を深める。

地域みんなで青少年に声をかけ、目をかけ、気をかける。

家庭の教育力を地域で育てる。

ウ ふれあい活動について

事務局

エ スクールガードの活動について

小学校 P T A 生活部長

○目的 ・交通事故からの危険防止、不審者対策。

・地域、保護者から募ったボランティアが、子どもたちの登下校に付き添い、安全に登下校させる。

○構成員 P T A 生活部 1 5 名 地域ボランティア 2 5 名

○具体的な活動

・スクールガードベストを着用して、できる範囲で子どもたちの様子を見守る活動をしていく。

オ P T A 見守り隊について

中学校 P T A 補導部

○目的 ・西浦地区の青少年の健全育成をはかる。

・通学路を点検し、危険箇所の確認をする。

○具体的な活動

・中学生の下校に合わせて通学路を巡回する。

・定点に立ち、下校途中の中学生に声をかける。

カ 各校園の現状報告

西浦保育園・小学校・中学校

キ ご指導

青少年センター所長

清水 孝夫氏

ク お礼のことば

西浦中学校校長

村越 英昭氏

ケ 閉会のことば

竜田総代

鈴木 勝利氏

2 平成26年度西浦地区「地域ふれあい活動」

(1) 地域ふれあい活動の計画

① 目 的

- ・地域の方々と一緒に活動することで、気楽に声をかけられる人間関係を築く。
- ・地域の方々と楽しく過ごしながら、防災に関する知識を学ぶ。

② 日 時

- ・ 8月24日（日） 8時～11時

③ 活動場所

- ・ 西浦中学校体育館・体育館前広場

④ 活動内容

- ア 安全安心課からの話を聞く。
- イ 東日本大震災の話を聞く。
- ウ 非常食の試食をする。
- エ 水消火器体験、煙道体験、防災グッズづくり体験をする。

(2) 地域ふれあい活動の実施

① 参加人数

園児 4 名 小学生 24 名 中学生 110 名 大人 50 名 合計 188 名

② 活動の実際

ア 安全安心課の話

- ・ 災害情報について
- ・ 学校にある市の備蓄品について



イ 東日本大震災の話

- ・ 自衛隊の活動について
- ・ 東日本大震災における救助活動について

ウ 非常食の試食

・アルファーマの作り方



・アルファーマ、乾パンの試食



エ 防災に関する体験

・水消火器体験



・煙道体験



・防災グッズづくり体験



(3) 参加者の感想

- ・このふれあい活動を通して、まずは震災に備えて、自分たちで準備することが大切であることが分かりました。また、震災にあったら、中学生も働く必要があるので、地域とのつながりを大切にしたいです。【中3男子】
- ・地域の人たちと絆を深めて、災害の時に助け合っていきたいです。ふれあい活動は、絆を深めるととても良い機会となりました。【中2女子】
- ・ふれあい活動に参加して、お年寄りの人たちとコミュニケーションがとれてよかったです。【中1女子】

(4) 成果と今後の課題

① 成果

- ・非常食を食べたり、体験活動を通して、地域の方々とふれあうことができた。
- ・安全安心課や自衛隊の話を聞く中で、防災には地域の絆、人間関係が大切であることに気づいた。

② 今後の課題

- ・子どもから大人まで、多くの人が参加したくなる活動を実施する。